

## 編集後記

『ヴィクトリア文化研究』第18号をお届けします。

2020年は新型コロナウイルスの影響で世界全体に大きな動揺が広がった年として記憶されることになるでしょう。気候変動などとも相まって、社会構造全体に揺さぶりをかけるこの種のパンデミックがこれからも私たちの眼前に次々と現れてくるのかもしれませんが。

会員の多くが関わっておられる教育分野の現場でも、例外的な対応を迫られた方が多かったのではないかと拝察いたします。この論集も、書評対象の本が出版延期になったりするなど、従来では考えられないこと続きでしたが、ようやく出版の運びとなりました。

投稿される論文の中には、時間をかけて修正を施せば掲載可能となりそうな、将来性を感じさせる論考が毎年数本含まれています。従来は編集委員による査読を経て掲載の可否を判断するまでに時間的余裕がなかったため、これらをすべて不採用としていました。今号より投稿論文の締め切りが1か月早まった結果、査読期間も延び、各論文の問題点への具体的な助言が可能になっています。今号への投稿論文の総数は10本を数え、結果的に5本の論文が掲載されました。編集委員の各先生方には大変なご苦勞をおかけすることになりましたが、その甲斐があったのではないかと思います。

社会が動揺している中でも着実に研究の実をあげようとしている方々が本会会員の中に数多くおられることは、社会からの圧力にさらされ続けている日本のアカデミズムの将来にとって希望の光となるものです。今後とも会員の皆様のご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、今号に投稿して下さった全ての執筆者、充実した書評をお寄せ下さった書評者、編集作業のサポートをして下さった学会事務局の方々ならびに各編集委員の先生方に深く感謝いたします。どうもありがとうございました。

(金山亮太)

編集委員

荒川 裕子  
伊藤 航多  
金山 亮太(委員長)  
真保 晶子  
並河 葉子  
長谷川雅世  
林田 敏子

ヴィクトリア朝文化研究 第18号

---

2020年11月1日

発行 日本ヴィクトリア朝文化研究学会  
会長：中島俊郎  
事務局：〒610-0321 京都府京田辺多々羅都谷1-3  
同志社大学グローバル・コミュニケーション学部  
玉井史絵研究室

印刷 清正堂加藤株式会社

---

表紙 *Modern Advertising: A Railway Station in 1874.* Drawn by Alfred  
Concanen (1835 - 86) National Railway Museum